科目名	社会学概論　　Introduction to Sociology						
科目担当者	田中 保通　　TANAKA Yasumichi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］ 経営学部・経営学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	人と人や集団のつながりでできている社会には、様々な作用や現象が現れます。社会学は人や集団等の関係に注目しながら、その仕組みを科学的に明らかにしようとする学問です。 社会学概論では、社会学の基本的な考え方や概念・理論、さらには社会調査の手法などを教科書と追加資料を用い、できるだけわかりやすく講義します。						
授業の到達目標	①　社会学の基礎的な概念や理論について正しく理解する。 ②　社会でおきる様々な現象について、社会学的見地から考察できる能力を身に付ける。 ③　社会調査の基本的手法を身に付ける。						

授業計画・内容		
	1	社会学って何だ？　社会学の基礎を作った人たち
	2	予言の自己成就とは？　私たちは社会によって作られる　行為・役割・社会化
	3	私たちは役者？　相互作用分析
	4	官僚制は霞ヶ関だけじゃない　　集団・組織・官僚制
	5	「信頼・ネットワーク・お互い様」の光と影　パーソナル・ネットワークとソーシャル・キャピタル
	6	トトロにもでてきた「本家」　家族(1)家族の諸形態
	7	ロマンティック・ラブって当たり前？　家族(2)家族の現在
	8	社会って不平等　階級と階層(1)
	9	「野郎ども」は繰り返す　階級と階層(2)
	10	不良はこうして作られる　逸脱と社会問題
	11	都市住民は孤独？　都市
	12	町内会に入ってる？　町内会と NPO
	13	外と内のグローバル化　グローバル化という社会変動
	14	RDD 法って何？　社会調査(1)社会調査とは
	15	本当に関係があるの？　社会調査（2）調査とデータ分析の手法

授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を予習し、専門用語の意味等をあらかじめ調べておく。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について整理し、不明な箇所は確認し理解しておく。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 小テスト	100% 加点事由	①、②、③ ①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	北川　由紀彦『社会学概論』放送大学教育振興会
参考文献	随時提示する。
その他	